

三田市多世代活躍支援課 御中

第2回こうみん未来塾「体験！三田青磁の魅力」実施報告書

作成：弥富こうみん未来塾実行委員会

【日時】平成29年8月27日(日)10時～11時50分

【場所】三輪明神史跡園

【参加】子ども22名、保護者・スタッフ14名（うち2名が三田市多世代活躍支援課）

【内容】

・弥富こうみん未来塾実行委員長梶井氏の挨拶から始まり、伊藤瑞宝から三田青磁が世界3大青磁の1つであることや、美しい青色がガラスの横面が青に見えるのと同じ原理だが、非常に薄い層なのにきれいな青に見える不思議な現象であると説明が有り、興味津々のスタートだった。

・続いて、お茶碗の作り方を丁寧に説明頂いた。手順は、(1)土台の底の高台の部分としてピンポン玉より少し小さめの材料をちぎり、(2)残りを台紙より少し大きくなるまで平たく伸ばし、(3)台紙を型にしてはみ出た部分を切り取り、(4)球状の型に沿うように押さえつけ、(5)はみ出た部分をへらで切り、(6)高台の材料を棒状に伸ばし、合わせ目に水を付け、円筒形に貼り合わせ、(6)高台の部分を水をのり代わりにして茶碗底に貼り付け、接着部分の継ぎ目を丁寧に無くし、(7)周辺部にへらやハンコで模様を付け、(8)底面に名前を書き、(9)型から外し、口が当たる部分を水を使って滑らかに仕上げで完成です。

・余った材料で、箸置きに挑戦する子もいました。



伊藤瑞宝先生から色々なお話しを聞かせて頂きました。



少し遠回りしたけど、頑張るぞ～！



みんな真剣にお話しを聞いています。



まずは、土をトントン伸ばします。



周囲に模様を描いています。



おっ、やるなあ～



おじさんに手伝わせて。やだ、私がやる！



ほらほら、こうするのよ。ウ～ン・・・



全員、真剣！

・最初は、思うように土を型に沿わすのができなかつた子どもも、伊藤先生やスタッフの皆さんのご指導もあって次第に上手にでき始め、ハンコで模様を付ける頃には、みんなの力作が姿を現し始め、大盛り上がりの体験となりました。これから窯で焼き上げ出来上がりは約2か月後ということです。

参加者一同、非常に楽しく満足した体験実習でした！！



皆さん、よく頑張りました！

【アンケート集計結果】

- ・子ども用：回収 18 名（6 年生以上 3 名、4 年生と 5 年生 10 名、3 年生以下 5 名
 - ・とてもおもしろかった：14/18、おもしろかった：4/18
 - あまりおもしろくなかった：0、おもしろくなかった：0
 - ・感想
 - ・昔の人の気持ちが少しわかった
 - ・模様が逆向きになったけど楽しかった
 - ・自分で作れた楽しかった
 - ・箸置きまで色々作れて楽しかった
 - ・茶碗の形を作るのが楽しかった
 - ・自分のオリジナルの茶碗が作れて楽しかった
 - ・もう一回やりたい。
 - ・印象に残ったこと、疑問に思ったこと
 - ・意外と小さい子の方が得意なところもあって面白かった
 - ・箸置きで動物なども作れるんだと思った
 - ・青磁を作るのは難しいと感じた
 - ・お茶碗の底の作り方が分かった
 - ・どうやって焼くのだろう？
 - ・難しいけど上手にできた
 - ・ほかの焼き物はどうやってつくるのだろう
 - ・なぜほとんどの人は三田青磁を知らないのか
 - ・こうみん未来塾で「体験したい」「学んでみたい」こと
 - ・三田青磁をまたやりたい（違う焼き物、コップ、色々なお皿などを作りたい）
 - ・稲刈り
 - ・お天気の秘密
 - ・茶道や華道
 - ・布の工作
- ・保護者用：回収 8 名
 - ・とても面白かった：5/8、面白かった：3/8、あまり面白くなかった：0、面白くなかった：0
 - ・印象に残ったこと、疑問に思ったこと
 - ・三田青磁のことが知れて勉強になった
 - ・昔から作られていることが分かった
 - ・三田青磁が世界的に有名だったことを知らなかった(3 名)
 - ・以外に上手に作れることが分かった
 - ・先生のお話しが分かり易かったが、質問コーナーがあった方が良かった
 - ・こうみん未来塾で「体験させたい」「学ばせたい」こと
 - ・農業体験、コンピュータやソフトウェア

以上